

新たに14技術評価

ピオロツクなど活用促進へ

県土木工事新技術
活用評価委員会

県は、第3回土木工事新技術活用評価委員会を開き、16年11月以降に登録された技術など14の新技術・新工法を評価した。一般工事で活用促進を図る「レベル3」にはピオロツク、多自然型アロツク、高所法面掘削機による掘削工法など6技術、残る8技術が試験施工として実施する「レベル2」となった。

今回の評価により、新技術・新工法の登録数は142件となった。

建設

評価した14技術の名称、副題、概要などは次の通り

(①分野②概要③評価レベル④問い合わせ先)。

【共通工】

▽無足場ロックホルト工法
①共通工②斜面上部の推定崩落線上より奥に十分な強度を持ったアンカーを設け、削孔専用の無足場掘削機を2本のワイヤーロープで確実に固定して、人力またはラジコンによる遠隔操作で削孔を行うロックホルト工法③レベル2④大昌建設

▽高所法面掘削機による掘削工法

ハロッククライミングマシン01型・03型・06型による掘削工法
①②斜面上部の推定崩落線上より奥に十分な強度を持ったアンカーを設け、高所法面掘削機(小型バックホウ)とアンカーを2本のワイヤーロープで確実に固定した高所法面における掘削工法③レベル3④大昌建設

▽高所岩盤掘削機による岩盤掘削工法

①土工②斜面上部の推定崩落線上より奥に十分な強度を持ったアンカーを設け、機械の自重を反力として掘削する高所岩盤掘削機(ロッククライミングマシン10型)を2本のワイヤーロープで確実に固定して、高所急斜面の岩盤を掘削する工法③レベル2④大昌建設